

平成28年 9月28日(水) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



平成28年度全国高等学校総合体育大会

美し咲く君の笑顔と努力の華

中国5県で
インターハイ開催!

2016 情熱疾走 中国総体



第78号
2016・9

挨拶



父母の会会長
松澤 龍治

平成二十八年度、父母の会会長に就任いたしました松澤と申します。どうぞ宜しくお願い致します。大役を引き受け、一年、二年と過ぎ最後の一年があつという間に訪れました。今まで色々な経験をさせて頂きましたので、その経験を活かしながら最後の一年も頑張りたいと思います。

五月に父母の会並びに部活動後援会の総会が行われました。新役員一同、父母の会会員の皆様のお力添えを頂きながら、生徒達が充実した高校生活を送れますようにサポートしていきたいと思えます。六月下旬から七月上旬にかけて学年・学級懇談会が行われました。各学年ごとテーマに添って話し合われ沢山の意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。このような

機会や情報を保護者が共有することで、先生をはじめ、生徒、保護者みんなの意識が高まり、子ども達の高校生活がより良いものとなるよう協力したいと思えます。

一年生は入学して初めての夏休みでした。夏休みは無事に過ごせたでしょうか。慣れてくると事故等も起きやすいので、二期期は気を引き締め充実した高校生活を送ってほしいと思えます。

二年生は学校生活にも慣れて、勉強、部活に充実した日々を送っているのではないのでしょうか。進路についても、そろそろ考えていく時期なので、親子のコミュニケーションを大事にしてほしいと思えます。

三年生は進路が決まる大切な時期です。私達保護者も全力でサポートできるように学校の先生方と協力して見守っていききたいと思えます。私も保護者の一人として、しっかりとした家庭教育が出来るように頑張りたいと思えます。言葉整いませんが、挨拶とさせて頂きます。

結びに、商大附高並びに会員の皆様の益々のご活躍とご多幸をご祈念申し上げます。

挨拶



校長
高橋 洋一

私は今年度から校長を拝命致しました高橋洋一と申します。一期には平成二十八年度父母の会総会と各学年学級懇談会が無事終了致しました。特に各学年学級懇談会におきましては、最終的な出席率が例年に劣らず高い結果となりました。これは父母の皆様の本校の教育に対する関心の高さを示すものであり、学年毎にそれぞれのテーマに沿って、講演会や話し合いがもたれ、有意義な会合となったことと確信いたします。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、リオデジャネイロ・オリンピックのメダルラッシュで盛り上がった夏休みも終了し、改めてこれまでの一学期を振り返ってみまして特に印象に残ったことは、生徒がもたらってきた賞状の多さです。一学期末には五回表彰式があ

り、合計百四十五枚の賞状を読み上げました。二つ目は、皆勤者の多さです。一学期末では、九百五十四名(ほぼ四名に三名の割合)

が皆勤の状態でした。年度末までできるだけこの状態を保持してもらいたいものです。三つ目に、夏休み中の校外行事の多さです。海外研修、オープンスクール、特選特進コースの勉強合宿、登校講座、総合ビジネス科のインターンシップ、国際文化コースのブリティッシュヒルズ英会話研修、二年観劇(リトルマーメイド)、三年三者面談、全国大会(少林寺拳法、フェンシング、空手道、アーチェリー、バトン、放送、囲碁)等です。生徒は校外においても、校訓の『親愛・礼節・整美』と『五分前行動』を実践し、商大附の伝統的なマナーの良さを発揮してくれたことと思えます。また、私は全国大会のうち、空手道、フェンシング、アーチェリーの三つの競技にお邪魔し、本校生徒の晴れ舞台を拝見し、写真撮影をしながら応援させていただきました。いずれの競技においてもそれぞれが全力でプレーし、最終頁の一覧にありますように上位入賞を果たしました。本当に頑

張ってくれました。

四つ目に、特に試験前の時期に、学習室や進路資料室に自学自習に通う生徒の多さにも驚きました。学習室がまさに『知の拠点』になっているという印象です。進路達成につながることを念願しております。

五つ目に、退学者がゼロのことです。現代社会は高学歴社会であり、大学進学率も五割を超えたと聞いています。ましてや高卒の資格は必須です。一人一人がしっかりと自分の進路目標を持って努力している結果であると推測致します。また、生徒間のトラブルもこれまでのごとくありません。

二期期の十月には、『創立百周年記念商大附高祭』が開催されます。テーマは本校建学の精神である『自主自立』、Do it by yourselfです。この建学の精神『自主自立』は時代が変わってもなお変わらない不易の精神であり、今後グローバル化社会ですますます求められる姿勢でもあります。どうぞ、父母の皆さまにはたくさんの方々に本校まで足を運んでいただき、生徒が一生懸命に取り組んできた発表や展示を見て、励ましの

言葉をかけていただければ幸いです。以上で、言葉整いませませんが、校長の挨拶とさせていただきます。

学年委員長挨拶

三学年委員長 笠原美穂

本年度三学年委員長を務めさせて頂く事になりました笠原です。どうぞ宜しくお願い致します。

子ども達が入学して早いのももう三学年を迎えております。入学当初は色々不安や期待を抱えていた子ども達も今では友達と仲良く過ごしながら勉強に部活にと毎日充実しているかと思われず。その子ども達もいよいよ進路を明確にし、それぞれの目標の為に動き出す年となりました。先日の学年・学級懇談会ではライセンスカデミーの宇佐美先生より進路に向け意識の高め方や家庭でのコミュニケーションの取り方等の講演を頂きとても貴重な時間を過ごす事ができました。子ども達が進路達成に向け前進できるよう学校の先生方と協力し全力で保護者もサポートしていきましょう。

私自身も父母の会の役員を一年生からさせて頂き役員の皆様方と様々な行事に参加してまいりました。本当に貴重な体験ができました。本当に貴重な体験ができました。最後の一年も役員としております。最後の一年も役員の方々と楽しく活動していければと考えております。

最後に三月の卒業式では全員が笑顔で迎えらるることを願っています。

二学年委員長 桂川 淳

昨年に引き続き学年委員長を務めさせて頂きます桂川です。昨年は皆様のお力添えにより全ての行事が滞りなく進みました事、心よりお礼申し上げます。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

一年間の高校生活を経て、子ども達も随分成長したと思います。また、将来の事も少しずつ考えるようになったのではないのでしょうか。卒業後は進学或いは就職と一つの岐路を迎えますが、二年はその進路を具体的に考える時期です。この選択で今後の一生が決まってしまう、というものではありませんが、大切な節目である事には違いないと思います。将来については夢や希望と共に不安もあるでしょう。

う。その不安を取り除くためにも親子で一緒に話し合うことが必要ではないでしょうか。人生の先輩としてアドバイスすると同時に、子どもの意見を尊重してあげることも大切なことだと思います。

高校生という青春真っただ中にいる生徒の皆さん、部活や勉強に励んで、毎日楽しく元気に過ごして下さい。仲間との絆も大切にしましょう。

一学年委員長 生沼英治

今年度一学年の学級委員長を務めます生沼です。どうぞ宜しくお願い致します。

今の子供も達は大変だなと思います。それは情報量と選択肢がとも多くなっているからです。一見恵まれていような気もしますがその分迷うことが多くなると思います。沢山の選択肢の中から短い期間に結論を出すのは大人でもなかなか難しいのに十七歳や十八歳でそれを迫るのはちよつと酷なような気もします。自分が高校生頃の頃は大体偏差値で進学先を決めて、就職もその延長線上で決めていたように思います。ある意味では楽だったような気がします。

たくさんの情報の中から自分にとって何が大切かを決めるには自分なりの価値観を持つことが大切です。これからの三年間は子ども達の価値観を決めるようなたくさんの出合いがあるでしょう。この三年間に子ども達には先生や友達や本を通してたくさんの価値観に触れてほしいと思います。そんな大切な三年間を父母の皆さんと一緒に子ども達を見守ってほしいと思います。三年間どうぞ宜しくお願い致します。

出席者感想

普通科特進三年 小野 順市

我が家は三人の子どもがおりますが、上の二人の時は、学校行事や進路についても妻任せでした。昨年、役員デビューをした私は、学校行事に参加させていただく度に、懇切丁寧な企画・対応に素晴らしい学校であるとの思いを強くする中、今回の懇談会に参加させて頂き、学校に対する信頼感が一層増しました。第一部の学年懇談会での宇佐美正利先生の講演では、

効率的な学習について、「良く寝る・朝ご飯を食べる・勉強の前半は考える学習・寝る前は記憶ものの学習・脳の性能に個人差なし、興味係数が影響」など目から鱗の興味深い内容に希望がわきました。第二部の学級懇談会では、進路ごとに五組に分かれて、スマホの扱いや、家庭学習、進路決定等について、有意義な意見交換ができて、大変参考になりました。

普通科特進三年 原田 久美子

講演会での宇佐美先生のお話の中に人間偏差値という言葉が印象に残りました。振り返って考えると忙しさの中に身を置き、あつという間の十八年、社会に出せる人間に育てられたらどうかと疑問に思いました。社会に出る上でコミュニケーション能力を持っているのか、何よりも自分が未熟だと理解した上で素直に学ぼうという思いがあるのかと考えさせられました。またこのような機会を頂いたことに感謝しております。これからの出合いの中で、いろんなことを吸収し成長していくことを願うばかりです。

学年懇談会では担任の佐藤先生

から細やかで丁寧な説明を受けることができました。この夏、親子でよく相談しながら深刻にならず真剣に将来について話し合いたいと思います。親もオープンキャンパスには参加し、できる限りのことはしていこうと思います。

最後に十八歳での選挙権で、先生方が学校でも取り上げて頂き感謝しています。これからの社会をつくっていくのは若者たちなんだとしみじみ感じた有意義な懇談会でした。お世話になりました。

普通科園庭文化コース三年 川原 淳子

第三学年の学年・学級懇談会は「進路達成に向けて」というテーマで行われました。学年懇談会では、講師の先生より「高校生を取り巻く進路状況と家庭の支援」という内容で、大学受験・就職活動の現状と必要な取り組みについて具体的なお話を伺いました。

就職を考えた進路選択、入試・進学後にかかる費用。生徒がやるべき事。(自ら行動。授業を大切に。基礎学力をつける。高校生活を楽しみ、コミュニケーションを大切にする。「進路は自分で決めたのだ」という意識を持ち、進ん

だ道を好きになることなど。)

家庭でのコミュニケーションの秘訣や高校との連携の大切さなど。進路を決定し目標に向って努力してゆく子どもをサポートする上で大変参考になりました。第二部の学級懇談会もまた担任の先生の生徒一人一人に対する熱心で細やかなご指導を頂きました。皆様と共に良き春を迎えられるよう親子で頑張つてゆきたいと決意できた。良き機会をありがとうございました。

総合ビジネス科三年 古川 みゆき

第三学年の学年・学級懇談会が六月十九日に行われました。

今、まさに親子で語り合う貴重な時を刻む大切さの助言を頂いた。進路の方向性を真剣に悩む我が子と共有しなさいというお言葉も頂く中で今、どのご家庭でも進路達成に向けて一つ一つ階段を登っている時ではないでしょうか。コミュニケーションの取り方など具体的なお話も聞かせて頂き、改めて考える貴重な時間となりました。現在の社会情勢の中でコミュニケーション能力が問われる中、親としてしっかりと子どもと向き合うこ

とを今もこれからもしていく事の重要さを痛感しました。

第二部の学級懇談会では、担任の先生よりクラスの様子や進路状況、今後のそれらの日程などの説明を詳しく頂きました。その後は各班での情報交換が出来、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

三月全員が笑顔で卒業できることを願っています。残り的高校生活を悔いのないよう充実した日々を過ごす我が子の姿をみることはあります。これ程幸せなことではありません。

普通科特進二年 小島美智子

早いもので高校二年の夏となりました。

年に一度の学年懇談会。この日第一部で講師をして下さった宇佐美先生の話は、とても興味深いもので、心に残る言葉がたくさんありました。

第二部の学級懇談会では、担任の山口先生がレジュメを用意して下さい、受験について過去の事例を交えながら詳しく説明してくれました。「この時期に進路が決まっていなないと大変なことになる。」

という言葉から始まったので厳しさを痛感致しました。その後「家族で過ごす時間はあと少しです。」と言って観せてくれた動画に多くの父母の方が涙していました。そして子ども達からの手紙。さらに涙を誘うものとなりました。先生、粋な計らい有難うございました。受験の厳しさ、家族の絆、子どもへの思いを改めて感じることに出来た貴重な時間でした。

高校生活は短いものですが、とても濃い時間です。楽しいと思えることや、幸せと感ずることをたくさん残して将来に生かして欲しいと思います。

普通科特進二年 蠟山香代

七月十日、第二学年の学年学級懇談会が行われました。

進路講演会では、ライセンスアカデミーの宇佐美先生より「高校生を取り巻く進路状況と家庭の支援」についてお話がありました。

例年では、三年生での講演だったのですが、後悔のない進路選択をする上で、猶予ある今の時期にお話が聞けたことは大変参考となりました。「進路選択における、親の役割」として、日常生活の中

で進路や職業を話題にし、学校任せ、子ども任せにしないこと。「自分の好きにすれば」は、ゼロストローク状態であること。親は子どもと話をしているつもりでも、子どもは話足りないなどの感覚の相違もあるようです。「みほこさん」(認める・褒める・肯定する・賛同する)を念頭に置き話すよう心がけたいと思いました。十年後の自分を考えた進路選択。今から日々の過ごし方が重要に繋がっています。それにはまず、自分の学校が好きになれるよう高校生活を過ごしてほしいと思いました。

後半は、教室にて保護者懇談会があり、先生・保護者の自己紹介の後、各進路に向けての準備・心構え・夏休みの過ごし方などお話を聞き、昨年度修学旅行の様子をDVDで見させて頂きました。

これからも、先生方には子ども達の高校生活がより良いものとなるよう変らぬご指導をお願い致します。

普通科特進一年 儘田文子

一学年の学年・学級懇談会が六月二十六日に行われました。

進路指導の話では、新しい生活が始まった中、大学受験に向けて

普通科国際文化コース二年 宮下みどり
進路講演会では進路を決めるためには、日常生活の中で進路や職業を話題にすること。高校や子ど

一年生の内から大切だと聞き、子どもだけでなく親も協力する事が必要なのだと思知らされました。生活指導の話の中でも考えさせられる事が多々有り貴重な時間となりました。

学級懇談会も全員参加の中、担任の先生からスライドを見せて頂き、普段の生活の様子が伝わり安心出来た気がしました。次にグループでの話し合いでは、各家庭での子どもの様子など尽きる事なく話も出来ました。学校の教育方針や先生方の指導方法などへの信頼を持ち、子どもを安心して預けられるとの結論に至った事で、今後の高校生活が子どもや保護者にとっても、より良い物となる事を願いたいと思います。

ありがとうございます。

普通科進学一年樋口大輔

高崎商科大学附属高等学校に入學して間もない六月に実施された懇談会に出席させて頂いて、学校、先生達の子ども達への熱心な思いがとても良い印象で感じ取れました。これから子ども達も達が経験していく高校生活で子ども達も自分で進路を考えていく環境作り、

また、家庭との連携を取りながら、充実した高校生活を送れるような体制を構築していきたいという気持ちの表れがとても感じられ理解できました。

懇談会に参加していた保護者の皆様が真剣にメモを取りながら今後の子ども達の進路を達成するよう聞いていたのがとても良かったです。

最後になりますが、このような懇談会が定期的に行われて、学校、家庭、子どもといった連携が取れて高校生活の三年間をより良い方向に迎えられるれば幸いです。

商大附高生としての自覚を持ち、クラス活動、部活動を精一杯頑張っているつもりです。

総合ビジネス科一年新井麻衣子

梅雨に入り、本格的な夏を迎える前の六月二十六日、第一学年の学年・学級懇談会が行われました。

第一部の学年懇談会では次に掲げる三点について説明を聞きまし「生活指導」「進路指導」「海外研修」それぞれのお話を通して一番気に留めておきたいと思ったことは、携帯電話との付き合い方

の重要性です。携帯電話に振り回されて自分を見失わないように注意することが肝心だと思います。

第二部の学級懇談会では先生の資料を基にお話をして頂きました。出欠状況に於いては、皆勤者が多く良いスタートが切れたと思いましたが。カリキュラム表を見ながら「経理ビジネスコース」「情報メディアコース」それぞれの特色を知ることができました。

群馬県高等学校PTA連合会総会に参加して

平成二十八年六月一〇・一一日

参加者 松澤龍治・笠原美徳・桂川淳・茂木幸恵・横尾麻子

県高等学校PTA連合会総会・教育懇談会が六月一〇・一一日に行われ、高橋校長と本部役員五名で参加させて頂きました。県内全域から五〇〇余名の会員が一堂に会し、総会そして講演会、夕食をとりながらの懇談会が続きました。

総会での記念講演では、夫は妻の子育てを手伝うのではなく、二人で子育てをするという意識が大切であること。男女共同参画で女性の社会進出が進んでいる現状の中で、夫は妻に頼らないようにしなければいけないという言葉が印

進路に関わる高崎商科大学・短期大学部との連携について。高校在学中の成績による特待制度や体験入学で実際に大学の講義を受講できることを知りました。

このような情報を保護者が共有し方向性を示してあげることが大事だと感じました。子ども達には常に目的意識を持ちながら高校生活を送ってほしいです。

伊香保 ホテル天坊

象に残りました。子どもの自立と共に夫も自立しなければいけないということだろうと思えました。講演会はとても聞きやすく楽しい内容で改めて子どもに対する気持ちを考えさせられることが多いものでした。

私学の会員の方々との交流もあり、他校の様子も知ることができ、とても有意義かつ楽しい時間を過ごすことができました。このような会に参加できる機会を頂いたことに感謝申し上げます。

第1回マナーアップ運動に参加して

6月15日に第1回マナーアップ運動が実施されました。登校時の生徒の安全、公共マナーや挨拶等の向上を図る目的でご父母の協力の下で年3回実施しているものです。参加して頂いたご父母の皆様に感想を寄せて頂きました。



- 「こちらからおはようございますと声をかけると、きちんと返してくれてすこし小雨の降る中でのお手伝いでしたが、参加した私も元気をもらうことができました。スマホのながら歩きをする子や危険な自転車の走行をする子も本校の生徒にはい wasn't でしたが、先生方が普段から登校の際の指導をして下さっているようで大変有り難いと思いました。」(山口 千草)
- 「雨が降っていたので、自転車通学の子は大変そうでした。北高崎駅の所では左側通行が守られていました。正門前の通りは少し右側通行している子がいました。近所に住んでいますが、普段は会えない沢山の子の顔を見る機会に恵まれいい経験になりました。」(重政 裕理)
- 「大橋の信号機の歩行者の時間が短いと感じました。あと数秒長くしても良いのでは思います。」

通勤、通学のピーク時には駅周辺が混雑する様子に驚きました。」(新井 典子)



- 「担当した場所が、セブンイレブン前の交差点でした。生徒が思ったよりも少ない登校経路のようで、もう少し学校に近い所での挨拶運動でも良いと感じました。」(和久 慶子)
- 「校門前では、挨拶をしてくれる子が多かったので参加できて良かったと思います。」(高橋 寿美代)
- 「高校生になると学校へ行く事も少なくなり、学校も遠いため登校の様子を見られる事もないので参加して良かったです。機会があればまた参加させて頂きたいと思います。」(田村 瞳)
- 「今回マナーアップ運動に参加させて頂き、日頃気づかない子ども達の様子を目にすることができて安心しました。高校生としての意識は十分心得ている様に感じました。」(米谷 悦子)



父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会長	松澤 龍治 (F3-10)	理事	原田久美子 (F3-5)	理事	堀越 妙子 (F2-8)
副会長	笠原美穂 (F3-12)		根本さおり (F3-6)		米谷悦子 (F2-9)
	桂川 淳 (F2-9)		森澤 栄 (F3-8)		高橋 浩美 (F2-10)
	生沼 英治 (F1-10)		境野友理子 (F3-9)		宮下みどり (F2-11)
書記	茂木 幸恵 (F3-3)		今川 幸子 (F3-11)	監事	神戸 梢 (F3-7)
	海老沼久之 (S2-2)		小林 光子 (S3-1)		吉村 巴之 (F3-10)
	登坂 駿		中島美佳子 (S3-2)		石井 弘幸 (F2-5)
会計	横尾 麻子 (F3-1)		小島美智子 (F2-2)		角田みどり (S2-1)
	石綿 綾子 (F2-1)		山口 千草 (F2-3)		櫻本 恭子 (F1-1)
	岩井 則和		中島 康代 (F2-4)		儘田 文子 (F1-4)
理事	鴻上まつよ (F3-2)		吉井美恵子 (F2-6)		樋口 大輔 (F1-6)
	小野 順市 (F3-4)		蠟山 香代 (F2-7)		岡田 将彰 (S1-2)

父母の会総会報告

平成二十八年年度高崎商科大学附属高等学校「父母の会・部活動後援会総会」が、五月二十一日(土)午後二時から本校講堂にて開催されました。山木副会長の司会進行、猿谷会計による開会宣言で総会が始まり、中村会長、高橋学校長より挨拶、学校の近況報告がありました。続いて議事に入り、事務局より平成二十七年年度事業報告、決算報告並びに、監事より監査報告があり、審議のもと承認されました。次に本部役員の改選が行われ、平成二十八年年度新会長に松澤龍治氏が選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十六名の役員が選出、承認され、新役員を代表して松澤新会長より挨拶がありました。続いて平成二十八年年度事業計画案、予算案が提出され審議の結果、原案通り承認されました。最後に、本会にご尽力頂いた村前会長、退任された役員の方々に、学校長より感謝状と記念品が贈呈され、退任者挨拶の後、会員の皆様のご協力をもちまして総会が無事に終了することが出来ました。新年度本部役員は別記の通りです。宜しくお願致します。

(書記 茂木 幸恵)

父母の会 平成 27 年度決算報告書

高崎商科大学附属高等学校 父母の会 会長
 父母の会 事務 事務局

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
会費	16,524,000	16,652,000	△128,000	@1,000×16,652人(月平均 約1,387人)
入会金	2,190,000	2,190,000	0	@5,000×438人(新入生438人)
受取利息	5,000	4,674	326	定期預金・普通預金
衛生費収入	1,400,000	1,399,000	1,000	@1,000×1,399人
前年度繰越金	3,625,075	3,625,075	0	普通預金 3,029,545円 現金 595,530円
合計	23,744,075	23,870,749	△126,674	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
備品費	600,000	414,000	186,000	図書室本棚9台
会議費	1,300,000	1,268,554	31,446	役員会・学年・学級懇談会経費
慶弔費	300,000	376,540	△76,540	香典・花輪・饗別
補導費	80,000	17,948	62,052	情報交換会・校外の生活指導費等
環境整美費	2,300,000	1,228,483	1,071,517	清掃用品・ゴミ処理代
保健衛生費	1,600,000	1,402,877	197,123	汚物処理・保健室薬品代等
旅費交通費	150,000	85,500	64,500	役員研修交通費等
部活動賛助費	3,000,000	3,000,000	0	部活動後援会の補助
通信費	600,000	499,824	100,176	メールによる生徒連絡網システム年間管理料、他
消耗品費	30,000	16,210	13,790	コピー用紙等
進路対策費	1,500,000	1,303,905	196,095	進路資料・2016年度版大学入試シリーズ・講演会
生徒会事業協力費	1,300,000	1,496,286	△196,286	芸術鑑賞(クラシック音楽)・予餞会・生徒会協力金
卒業生記念品費	270,000	253,638	16,362	卒業祝紅白餅
教育研修費	700,000	492,724	207,276	教職員研修補助
印刷費	700,000	624,240	75,760	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車輛運営費	1,900,000	1,326,183	573,817	車輛燃料代・車輛リース代
諸会費	3,000,000	2,735,271	264,729	PTA 連合会費・スポーツ振興センター負担金 高P 連昭償責任補償
雑費	200,000	110,368	89,632	大会パンフレット協賛広告料等
車輛償却引当預金	1,000,000	1,000,000	0	特別繰越金
創立110周年記念事業費	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
育英基金協力金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[予備費]	100,000	0	100,000	
次年度繰越金	114,075	3,218,198	△3,104,123	普通預金 2,738,219円 現金 479,979円
合計	23,744,075	23,870,749	△126,674	

※ 慶弔費・生徒事業協力費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

※特別繰越金

科目	金額	科目	金額
車輛償却引当預金	4,600,000	創立110周年記念事業積立金	15,000,000
前期末積立累計額	1,000,000	前期積立累計額	2,000,000
当期積立額	5,600,000	当期積立額	17,000,000
合計(当期末積立累計額)		合計(当期末積立累計額)	

上記の通り決算報告致します。

部活動後援会 平成27年度決算報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

Table with financial data for income and expenses. Income section includes items like '会費' (24,786,000) and '入会金' (2,190,000). Expense section includes '大会費' (18,000,000) and '報償費' (5,500,000). Total income and expenses are 42,214,510.

※寄附金収入について 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

Table showing special carryover funds. It compares '部活動振興基金' (15,500,000) and '車輛償却引当預金' (4,000,000) with their respective '前期末積立累計額' and '当期末積立累計額'.

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

部活動後援会 会長

〃

部活動後援会 会計

〃

事務局

この春、ここならばと大きな期待を持って入学を決めました。高校に通うのが当たり前に思える昨今。何かが麻痺しているのではないかと考える事があります。恵まれた環境で選ばれた生徒が集まって沢山の情報を与えてもらう日々。やがて卒業しても何とかなる。そんな受け身の高校生には少々の苛立ちを覚えてしまいます。友達との出会い、先生や学校への親しみ、新しい事を学ぶ新鮮さなど一年生には小さな刺激と挑戦が多々あります。今、持つことができたその勇気が高校時代をより有意義にする事も可能ではないかと想像が巡ります。学力の向上や目標も成就してほしいです。ですが何よりこの三年間をただの通過点にしない努力だけは惜しまないでほしいのです。三年後あるいはもっともつと先に「ここであつたね」と笑顔で話せますように。誇り高く高

校生の時間を使ってほしいと願う

一年生 父母が語る 我が子に望む 高校生生活 普通科特選 榎本 恭子

ています。誰の為でもなく自分の為に一歩踏み出し自分を磨いて今も未来も輝かせる力があることを信じ、私はその努力を必ず褒めるのだと心に決めて見守ってゆきたいと思っています。

普通科特進 水野 珠恵

沢山の知り合いのいた小・中学校の入学とは異なり、高校入学ではお互いに違う環境で育った同級生や先輩方と出会う事でしょう。

携帯やスマートフォン、お小遣いや遊ぶ場所と、行動時間・範囲も広がると思います。そんな新しい出会いや環境に刺激し合い、親も子も成長する事と思います。

高校受験がようやく終わり、ほっとしている反面、入学から今日まであつと言う間に高校生活の1/9が過ぎてしまいました。三年間は思っているより早いものです。だからこそ大切に過ごして下さい。

部活動や学校生活を通じた経験が必ずその先の就職や進学、独り暮らしに役立つと思います。今しか出来ない部活動や学校生活を楽しんで下さい。

進路については共に成長していく仲間や先輩方に刺激され気付く

事もあると思います。情報や資料を通して興味を深め、実際にその場に足を運ぶ事で環境を知り、進路を決める材料にして下さい。目標を決めたら、そこに向かって努力して下さい。私達親もその目標に、出来る限りの協力をしたいと思っています。

普通科進学 新井 佳恵

私達は、笑うと書いて「エム」と名付けました。そう、どんな時も、笑顔を忘れないでほしいという願いを込めてです。

中学卒業式に担任の先生より、「ありがとうございませう」を一番多く言ってくれましたね。」との内容のお手紙を頂きました。私は、改めてこの子に、感謝の言葉を声にする大切さを気付かれました。

そして、この子はちゃんと伝えられているのだと嬉しく感激をしてしまいました。生まれる前から早産の危機、そして小児ガンの可能性がありました。この子の笑顔が私達に「大丈夫」と思わせ、救われたことを今でも覚えていて、そして今、こうして高校生になりました。高校進路も決して、安易に決めたわけではありませんでし

た。あの時のこの子なりに悩み、最後までチャレンジし努力をしていたことも見て来ました。これからは壁にぶつかります。立ち止まってもいい、泣いてもいい、ただ俯いてばかりいらないでほしい。俯いたら、前に何ががあるか気付かなくなってしまうから。そして忘れないでほしい、ひとりではないということ。私達、親だけでなく、たくさんの人達が自分に関わってくれていることを。力を与えてくれること。

この世に生まれてきたことは、誰もが意味があり生まれてきたのだと思っています。可能性をいっぱい広げられる高校生活、目を見て、耳で聴いて、心で感じて、たくさんの人に出会い刺激を受け、体験し経験をして下さい。子ども達だけでなく、私達大人も、「どう生きるか」が永遠のテーマなのかもしれません。未来あるすべての子ども達にエールを送ります。

普通科国際文化 渡邊 亮治

毎日のように事件事故が発生し、未曾有の災害により何人もの尊い命が奪われています。今日も生きていること、生かされていること

に感謝しましょう。

高校三年間はあつという間で。一日一日を大切に充実した生活を送って下さい。何をすればよいか分からない時は、今できる事は何か考えるようにしましょう。それでも分からない時は周りの人たちに相談できるようにしましょう。一人で悩みを抱え込む必要はありません。また未熟なのは承知しています。恥かしがらずに相談して下さい。

若いうちは何もせず後悔するより、何かをして後悔して下さい。沢山失敗し、経験値をためてレベルアップして下さい。大人と違って多少失敗しても食いつぶぐれる事はありません。周りの大人たちが何とかしてくれませう。そして、あなたが大人になった時、当たり前、普通の生活が送れるようになって下さい。

そのために、そして最後の日に、「我が生涯に一片の悔いなし」と言えるよう、今できることをがむしやりに頑張ってください。

総合Eジネス科 岡田 将彰

「ただいま！」と元気良く、インターハイの応援から一週間ぶりに帰宅した息子の背中では逞しく私の

目に映りました。自分で選択し、入学して四カ月が過ぎ短い間でも子どもの成長した姿に、親としても商大附高に入学させて良かったと思えました。また高校生活をスタートしたばかりですが、多くの人と出会い、様々な環境の中で日々成長をしています。しかし便利な世の中で大事な事を見失っている様な気がするのです。情報飽和社会に於いて、本質的なものを見極める力を三年間通して身に付けて下さい。

そして「当たり前の事」を毎日気を抜かずに積み重ねることが、大きな差になります。今はまだ雌伏の時期だと思えます。三年間は刹那のように過ぎます。一日一日を大切に生活して下さい。

卒業式の際に、三年間を振り返ってみて「凜」とした姿で胸を張って大きく羽ばたいて下さい。



特別進学選抜・特別進学コース

主任 大澤 香代子

今年六月の公職選挙法改正によ

り、選挙権年齢が十八歳に引き下げられ、高校三年生も選挙権を有することとなりました。それに伴い、文部科学省を始めとする関係各所より、政治や選挙制度に関する学習を促す資料が届き、私たち教員は、それらをいかに授業に取り入れられるか、工夫をしているところです。

そのひとつとして、特選・特進コース二年生の総合学習「社会研究」の時間に、外部講師による「税」に関する出前授業を実施しました。税金の種類や用途について学ぶことで、国の財政状況や少子高齢化による社会保障制度や医療制度のあり方、また、経済格差や労働環境など、日本が抱えている数々の問題について考える良い機会となったようです。また、同時に、それらの課題に中心となつて取り組まなければならないのは自分たちの世代であり、大きな責任を背負っていることを痛感したことでしょう。

そうした中で、自ら課題を発見し解決できる「課題探究能力」、さらに状況の変化に柔軟に対応し、他者と協力して活動できる「協働する力」が、現代の高校生には強

く求められています。社会人となり働く時には十分な能力を備えられているよう、今から広く社会に目を向け、その土台作りを始めて欲しいと思います。

一学年進学コース主任

鈴木啓明

一年生も一学期が終了し夏休みに入り、少々開放的な気分になっていることと思います。

一学期間、生徒の様子を見ていて感じたことは、もう少し積極的・意欲的になれないものかと思わせる生徒が少々見受けられたということです。学校という所は、いろいろな意味で生徒を守っています。従って、その中にいる生徒は特に目立った行動をとらない限り、平穩無事でのんびりと過ごすことが出来てしまうのです。でも、果たしてそれで良いのでしょうか。将来を考える時、今自分達に必要なものは何か、大切なものは何か、考えてほしいと思っています。三年生になつてからでは遅すぎることもたくさんあります。たとえ、学力の向上。これは、将来の進学就職に備えて、学業成績を上げておく、あるいは、受験に備えて実

力を養っておく。いずれにしても一朝一夕に出来るものではありません。そして、何よりも日ごろの学習がおろそかになると、授業の内容が理解出来なくなり、最悪の場合は、学校に対して関心が向かなくなってしまう。

私の高校時代の友人が三十数年前に言った言葉を紹介します。「高校時代に勉強した、難しい数学の公式や訳の解らない英語が、実社会で役に立つものか当時思っていたが、やはり、ほとんど役に立たなかった。でも、その難しいもの、困難なものに立ち向かうとする気持ちは、高校生の時にしか養えないのではないか。少なくとも、社会へ出てからは誰も教えてくれない。」と。とにかく、これからの難しい世の中を生き抜く上で、生徒には後悔の少ない、出来れば後悔のない人生を歩んで欲しいものです。

二学年進学コース主任

高橋久雄

どのような進路を選択するかが、生徒みなさんの一生を左右するといつても過言ではありません。将来進む方向は決まっていますか。

また、そのためにはどんなな上級学校へ進み、どんな勉強をしたらよいか理解していますか。夏季休業中にオーブンキャンプに参加しましたか。この時期から進路達成について真剣に取り組み、研究してください。早い時期から入試制度のしくみや、その制度の長所と短所をよく理解して対策を立てる必要があります。かけがえのない人生を悔いのない充実したものにするためにも、真剣に取り組むことが大切です。

高校生活は、社会へ出るための一つの転機です。部活動も大切なキャリア教育の場です。高校生の本分である学習をきちんとやった時、部活動を通して得られた力が加われば、社会で飛躍できる可能性が大きく高まります。今年も数多くの部活がインターハイ等で立派な成績を修めました。その先輩方も引退し、今後中心となるのが二年生です。夢を実現させるため、勉強と両立させ、努力して下さい。厳しさの中にも明るい学校生活を實現し、本校を誇れる学校とするために、教師と生徒が互いに助け合い、共に頑張って行きましよう。

一学期を終了し、多くの生徒の成績の向上が見られた反面、安易な欠席、遅刻が目立つ生徒が増えたことは非常に残念なことです。いわゆる「中だるみ」の学年と言われる学年ですが、将来を見据えた素晴らしい二学年にしてください。

三学年進学コース主任

菊池弘幸

ふと気が付けば高校生活三度目の夏休みが終わってしまいました。今まで一日中汗をかきながら走り回っていた生徒にとっては、生活が一変した夏であり、今後展開される進路達成に向けた活動にとって大切な時間であったわけですが、いかがだったでしょうか。中身はどうであれ、夏休みは終わってしまいましたので、ここからはいよいよ進路達成に向けたラストスパードです。

ところで今年の夏も国内外で様々なことがありました。国内では、戦後最悪と言われる事件も起こり、水の事故でも多くの命が失われました。また国外では、何と聞いてもオリンピックでした。日本人選手活躍に多くの人が目を奪われ

る中、特に体操の内村選手の演技には日本中がドキドキの連続だったのではないのでしょうか。その内村選手へのインタビューでこんな場面がありました。ある外国のメディアがこんな質問をしたのです。「あなたが連覇できたのは、審判に気に入られているからですか」。これに対して内村選手は、当然否定しましたが、内村選手に敗れたウクライナの選手が、それ以上に強烈に否定し、内村選手の素晴らしさを主張したのです。この時、これこそがオリンピックだと思いました。さあ、残った時間をフェアプレーで走り抜けましよう。

国際文化コース主任

井出聖和

平成二十一年七月。私は日本赤十字社北関東三県支部主催の国際交流事業で、群馬県の高校生を引率し、モンゴル派遣に参加しました。

私たちが訪問したウランバートル市郊外にあるケアセンターには、民主化により急激な経済発展で生じた格差が原因で、両親に捨てられ、住む場所も無い、ゴミ山に廃

棄される空き瓶やペットボトルを売り、生活している子ども達が保護されていました。しかし、彼らはどんな劣悪な状況下にあっても決して夢や希望を失ってはいない。手渡した文具セットを握りしめ、「僕は勉強が大好き！勉強して偉くなるんだ！そして僕達のような子どもを無くすんだ！」と。目を輝かせ語ってくれた少年の夢は、大統領になること。毎年夏が来る度に思い出します。大統領になるんだと語ってくれたその少年のことを。

「知識」とは「言葉で表せるもの」であり「書物」から学べるもの。「知恵」とは「言葉で表せないもの」、「経験」からしか学ぶことができないもの。この夏、部活動や受験勉強、インターハイや全国総文、海外研修やボランティア等で貴重な経験を積んだ皆さん、「経験」を「知恵」に。それは、一生の宝物になるはずです。

総合ビジネス科主任

善如寺 孝益

学年及び科・コースの運営では日頃よりご協力いただき大変有り難く感謝申し上げます次第です。

総合ビジネス科では、本年度より新しい取り組み、「ホールAプロジェクト（会計教育推進）」がスタートしました。これは、高崎商科大学の附属である本校ならではの取り組みで、全面的に大学のバックアップを受け実現できるカリキュラムです。

具体的には、高校の総合ビジネス科と大学の会計学科を繋ぎ、七年間かけて検定合格指導をする。会計の力を着実に付け、日商簿記検定合格を勝ち取り、最終的には公認会計士や税理士試験合格を目指す取り組みです。その指導にあたっては、大学の経理研究所に所属している現役の公認会計士の先生と本校の商業科の先生方であります。現在、一年生から三年生まで二七名が受講していますが来年度からは正式に「会計コース」を設置し、運営することも決まっています。

さて、二学期の過ごし方はいかがでしょうか。今学期は一年間を左右する大切な学期です。時間配分を工夫し優先順位を付けメリハリある計画を立てる。そして努力実行することです。科教員共々応援しています。頑張りましょう。

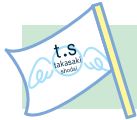
全年齢対象「学校評価アンケート」分析結果について（保護者・生徒共に1378名）

平成27年度末におけるアンケート結果が出ましたので、ご報告させていただきます。傾向としては、本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している生徒が約8割です。総合学習、課題研究にも多くの生徒が積極的に取り組んでいます。服装、頭髪、挨拶、生活のリズム等でも概ね良好の印象を受けます。しかし、家庭学習時間が1時間以上の生徒は43%であり、改善が必要です。進路目標を実現するための具体的な取組を決め、一つ一つそれらをクリアして、さらに次のステップへと進んでもらいたいものです。

- 評価内容**
- 4 … よく当てはまる
 - 3 … 当てはまる
 - 2 … あまり当てはまらない
 - 1 … 全く当てはまらない
 - 0 … 分からない
- 達成度**
- A … 十分達成できた
 - B … 達成できた
 - C … もう少しで達成できた
 - D … 達成できなかった

● 生徒全体	No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
	1	自分は本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	3.1	25%	56%	13%	2%	4%	A
2	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	3.1	29%	52%	14%	1%	3%	A	
3	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.9	18%	55%	20%	3%	4%	B	
4	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	3.0	25%	54%	16%	3%	2%	B	
5	自分は家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.4	17%	26%	31%	23%	3%	C	
6	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.4	44%	48%	5%	1%	3%	A	
7	自分は登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.1	32%	48%	16%	2%	2%	A	
8	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.3	49%	34%	12%	3%	1%	A	
9	自分は進路指導の行事に積極的に参加している。	2.9	23%	41%	27%	5%	6%	C	
10	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	3.2	34%	44%	13%	1%	8%	A	
11	自分は進路の適性をよく理解している。	3.0	23%	45%	19%	2%	11%	B	

● 保護者全体	No.	質 問	平均	4	3	2	1	0	達成度
	12	子どもは本校の各科・コースの教育内容を理解し、学習や課外活動に積極的に参加し、本校の教育活動に満足している。	3.1	23%	60%	11%	2%	4%	A
13	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	3.0	21%	56%	14%	2%	7%	B	
14	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.9	15%	58%	18%	2%	6%	C	
15	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	2.9	20%	52%	20%	3%	4%	C	
16	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.5	17%	28%	35%	16%	4%	C	
17	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.4	45%	47%	6%	1%	1%	A	
18	子どもは登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.2	36%	45%	16%	2%	1%	A	
19	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.3	48%	37%	10%	3%	2%	A	
20	子どもは進路指導の行事に積極的に参加している。	2.9	21%	45%	23%	2%	9%	C	
21	子どもの将来の進路志望について自分は理解している。	3.1	28%	48%	18%	1%	4%	A	
22	子どもは進路の適性をよく理解している。	3.0	22%	46%	21%	2%	8%	B	



高校総体 2016 (インターハイ)・全国大会結果

クラブ名	期 日	開催場所	成 績
空 手 道 部	7月30日 8月2日	山口県長門市 なかと総合 体育館	女子個人形 上田実季 (F2-5) 2回戦敗退 周藤里緒 (F2-2) 2回戦敗退 女子個人組手 土屋玲奈 (F3-11) ベスト16 男子個人組手 中野覚志 (F3-6) 2回戦敗退 女子団体組手 ベスト16 男子団体組手 第5位
アーチェリー部	8月7日 8月10日	広島県広島市 コカ・コーラ ウエスト広島 スタジアム	女子個人 17位 秋場祐里奈 (F3-10) 67位 室井麻佑 (F1-1) 68位 今川琴乃 (F3-11) 119位 鈴木真子 (F2-6) 男子個人 33位 市川遼治 (F3-1) 112位 石井智也 (F3-11) 125位 伊藤亨紀 (F3-6) 179位 城川廉平 (S3-1) 女子団体 4位 男子団体 24位
フェンシング部	7月29日 8月2日	山口県岩国市 岩国市総合 体育館	女子個人フルーレ 第5位 遠藤里菜 (F3-9) ベスト32 長壁侑奈 (F3-10) 女子個人エペ ベスト16 遠藤里菜 (F3-9) 女子個人サーブル ベスト32 樺澤風紗 (F2-6) 女子学校対抗 ベスト16 遠藤・長壁・樺澤・加藤有紗 (F2-9)・ 設楽ゆひな (F1-7) 男子個人フルーレ ベスト32 江藤和博 (F2-6) 男子個人サーブル ベスト32 倉林洋太 (F3-7)
少 林 寺 拳 法	7月29日 7月31日	岡山県美作市 宮本武蔵顕彰 武蔵武道館	女子単独演武 ベスト32 清水あかり (F3-4)
バ ト ン 部	7月30日 8月1日	広島市平和大 通り廿日市市 スポーツセンター	第40回全国高等学校総合文化祭 パレード部門、マーチングバンド・バトントワリング部門 文化連盟賞
放 送 部	7月25日 ~27日	国立オリンピ ックセンター	第63回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 準々決勝 ラジオドキュメント部門 準々決勝
	8月1日 ~5日	広島国際会議 場	第40回全国高等学校総合文化祭 放送部門 ビデオメッセージ部門 文化連盟賞 オーディオビクチャー部門 文化連盟賞
囲 碁 部	8月2日 ~3日	広島県立びんご 運動公園健康ス ポーツセンター	第40回全国高等学校総合文化祭 囲碁部門 女子個人戦 嶋田あかり (F3-4) 3勝3敗 男女混合団体戦女子代表 松本真穂 (F3-2) 2勝4敗

編集後記

今年の夏、七月一日、十八歳になった高校三年生が参議院選挙の投票権を持って投票所に向かいました。「投票するとき少し緊張しました。」という感想を本校の生徒から聞きました。

少年高齢化社会、デフレ経済からの脱却、国家財政の破綻と消費税増税、不安定な国際情勢への対応等、様々な問題についてどのような政策が必要なのかを自分で考え投票しなければならぬのです。

国家・社会の形成者として求められる力とは何でしょうか。異なる立場の意見が、どのような根拠に基づいて主張されているのかを検討し、議論を交わす力。争点を知った上で現実社会の諸課題について公正に判断する力。さらに、大きな社会変化を迎える中で、持続可能な社会の実現を目指して、他者との協働的に問題解決に向けて主体的に取り組む力。これらの力を身に付けるためには努力が必要です。

授業や様々な体験を通して、基礎・基本をしっかりと身に付け、生徒自身が主体になって他者と協働する能動的な学びが大切になります。21世紀に生きる私たち一人一人が政治に参加していくための教養を身に付けることが求められています。

建学の精神は「自主・自立」。校訓は「親愛」「礼節」「整美」。他者との協働的な学びは、心身を整え、礼儀を重んじ、感謝し奉仕する実践により成立するのである。選挙権を持つ一八歳の高校生は、社会に貢献できる判断力を持った一人の自立した人間になることが求められています。

最後に、「商大附高だより78号」に寄稿頂きましたご父母の皆様及び先生方には感謝申し上げます。(牧口)



高崎商科大学附属高等学校
マスコットマーク

広報編集担当者

茂木幸恵 (F3-3) 津金澤幸子 (F3-3)
加部康子 (F3-8) 吉村巳之 (F3-10)
中島美佳子 (S3-2)